

## まえがき

雑草制御の方法には除草剤の利用、刈取り、マルチ、被覆植物の活用その他いろいろありますが、これら各ツールの本質、特性、可能性について私たちは真に把握し、その機能を生かしているでしょうか。当研究所の一連のシンポジウムでは、正しい雑草管理とは各ツール本来の機能を目指達成のために適所適材的に組み合わせ、総合的に活用すること（IWM: integrated weed management）であるという立場に立って、各ツールを順次検証しています。

非耕地の除草剤については、とくに、単なる刈取り代用手段としてコストと利便性だけを不用意に評価・追求したこれまでの利用の歴史が、拒絶反応や乱用を生んでいる大きな問題があります。除草剤は本来、多様で高度な機能をもつ、いわば英知が結集された化学物質群です。このシンポジウムを、除草剤の機能を十分にかつ安全に発揮させるにはどうすればよいか、非耕地の雑草問題と利用の現状を踏まえながら、あらためて考える機会にしたいと思います。

ところで、当研究所が活動の対象とし、ここでも取り上げている分野は、植栽地・草地（くさち）等多様な場で構成される、私たちの日常活動を取り巻く重要な緑環境です。除草剤関係者の間で‘非(農)耕地’という呼称がなじみ深いことから、今回はあえてこの用語を用いましたが、この分野は決して‘非‘つまり’〇〇以外‘と呼ばれるようなものではないと思います。農耕地に匹敵する適切な名称を定着させることも、今後の前向きな取り組みに重要と考えています。

2010年12月

NPO 法人防草緑化技術研究所

理事長 伊藤操子

# 目 次

非耕地雑草の問題とその解決プロセス……………	1
伊藤幹二 (マイクロフォレストリサーチ 株式会社)	
除草剤の機能と非耕地雑草の生理・生態……………	11
伊藤操子 (NPO 法人 防草緑化技術研究所)	
除草剤の安全性：緑地管理における利用の観点から……………	22
興語靖洋 (独立行政法人 農業環境技術研究所)	
非耕地における除草剤利用の現状と問題	
鉄道    宮崎敏治 (株式会社 アセント) ……………	27
道路    渋谷浩司 (株式会社 理研グリーン) ……………	31
林野    越智和彦 (大同商事 株式会社) ……………	35
植栽地    河野光和 (ダウ・ケミカル日本 株式会社) ……………	39